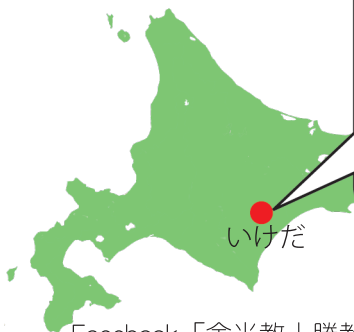
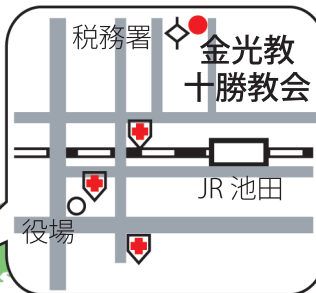


TEL 015-572-2322
FAX 015-572-4213



Facebook「金光教十勝教会」
<http://kontoka.webcrow.jp>



金光教十勝教会
〒083-0001 池田町旭町1-9

十勝教会 だより 94



Facebook



教会 HP (PC)



金光教公式 HP

天地金乃神様は「親」神様である

金光教十勝教会

「天地乃神様は氏子の親神である。かわいいわが子を、どうして難儀に遭わせなさるであろうか。わが子をもって合点するがよい。」

(教祖御理解・福島儀兵衛先生の伝え)

空には私たちを照らし暖める太陽があり、大地はものみなを育む。天と地の間に雨がふり空気があつて呼吸ができる。なんと世界は私たちが生きていくのに都合良くできていることか。

誰が頼まなくても毎朝太陽が昇り、誰が頼んだのでもなく雨がふり、空気がある。大地に種をまけば芽が吹き成長する。まあ、当たり前といえば当たり前前の出来事です。

しかし、太陽も。大地も。雨も、空気も、私たち人間が作り出したものではありません。それどころか、人間の思い通りにもなりません。



この冬は大雪で大変でしたね。でもこれも天地のご都合です

太陽を沈まないようにする…絶対できません。
台風の進路を変える…まず無理です。
地震を止める…不可能です。
そう、私たちが暮らしている世界は自分の都合のいいように調整することはできないのです。しかし、たまに災害が起こりさえすれば、天地の働きは人間(や他の生物)が生きていくのに都合よく整えられています。

天地だけではありません。例えば自分の体。誰にでも心臓があります。この心臓は頼んでもいないのに常に動き続けてくれています。

肺もそうですね。何も意識しなくても呼吸をしている。ものすごく当たり前のことですが、一旦、心臓が止まったり前のことですが、呼吸が止まったら、自分の意志で再び動かすことは…まあ無理ですよ。

自分の体も自分の自由になるようで自分の思い通りにはなりませんよね。でも、ちゃんと心臓は止まらず動いているし、呼吸もできている。

人間の力ではどうすることもできず、自分の思い通りにならないけれども、それが無ければ生きていけない。しかし、それがみな都合よく整っている。とても不思議なことだと思います。なんか？

人間の力ではできないことをやってくれている何かがいる？

しかも、わざわざ私たち人間（やほか

の生物）のために。

そう、それこそ神様に違いありません。天地や体など私たちが生きていくのに無くてはならない働きを整えてくださる存在、私たちはそれを「天地金乃神様」と呼びんでいます。



どんなに冬が厳しくても時は止まることなく過ぎ、ちゃんと春がやってきました

しかし、なぜ神様はわざわざ天地を整えたり、体の働きを整えてまで私たちが生きていけるようにしてくれているのでしょうか？

なにか目的があるはずですが…。

私たちは神様からなにか見返りを求められたことがあるでしょうか？

神様からは請求書もこないし、援助を

突然打ち切られるようなこともあります。あつたらものすごく怖いですけど…。さて、そこで冒頭の教祖様の御教です。神様が私たちを生かしてくれるのに見返りを求めないのは、「親が子を思う心と同じだ」というのです。

親が子を思うように、神様にしてみれば、私たち人間（や他の生物）が愛おしくてしようがないというのです。

親にしてみれば我が子には当然「生きてほしい」。同じように神様も私たち人間に「生きてほしい」と願われ、親が子供を育てるのと同じように、神様は天地の働きや体の働きを整え、私たち人間を活かし育んでくれているというわけです。

○

我が子が困っているとき、大変な目にあっているとき、放ってはおけないのが親の心情ですよ。

神様と私たちの関係を我が子を思う親の気持ちに例えると、同じように神様も、私たち人間が難儀している姿を

見て「助かってくれ」と願われている
といひます。

「それなら、すぐにでも助けてくれ！」
とも思いますが、なかなかそうはうま
くはいきません。それについて教祖様
がこう言っています。

「常平生、神様に取りすがっていれば、
神様と心安くならせてもらっているも
同然である。無理も聞いてくださる。」

(冒頭の御教の続き)

日頃から神様との間柄を大事にしてい
ないとダメというわけですね。

子供がまだ幼い時には、子供が助け
を求めなくても親は手を差し伸べます
よね。これが分別つく自立した大人に
なったらどうでしょうか。「助けて、
手伝って」と言われないのに手を出す
と、場合によつてはかえって怒られた
り、不審がられたりとかありますよね。
まあ、神様から見えて人間が分別がある
存在なのかは分かりませんが：

少なくとも親が子供の無事を願うよ
うに、神様も私たちの立ち行きを願わ

れているのは間違いないようです。だ
から困ったことがあれば素直に「神
様助けてください」とお願いしてみ
てはいかがでしょうか？

ただし、教祖様が言うとおり「日頃か
ら神様と仲良くしていないと」、とい
う条件を忘れてはいけません。

「神様と仲良くする」と言っても何
をどうすればいい？

ここは難しく考えないようにしましよ
う。コミュニケーションの基本は挨拶
ですよ。とりあえず朝起きたら「神
様、昨日はありがとうございました。
今日も一日よろしく願います」

夜寝る前に「神様、今日一日ありがと
うございました」と挨拶するぐらい
から取り組んでみてはいかがでしょ
うか。挨拶と一緒に「神様にお礼を言
う」ことがポイントですよ。

天地のお働き、体の働きをはじめ、
私たちは神様の支えがなければ生きて
いきません。天地の働きも体の働きも、
あって当たり前なので、なかなかお礼

を言えるようにはなりません。でも、
常日頃から「ありがとう」と言う稽古
に取り組んでいると、不思議と何に
もお礼が言えるようになります。「お
礼の心が育つ」、実はこれが神様と仲
良くなることなのです。

「神様と仲良くしていれば、神様は多
少の無理も聞いてくれる」

そうですので、今のうちから、しっか
り神様と仲良くしておきましょう。

今後の主な予定

※今年も道東地区の春の大祭交流は中止します。

関係教会記念祭

夕張教会布教	90年記念祭	4月29日
帯広教会布教	100年記念祭	6月19日
旭川教会布教	120年記念祭	6月19日
函館教会布教	130年記念祭	9月13日

教会行事祭典

滝上礼拝所天地金乃神大祭・霊祭	4月22日
薫別講社天地金乃神大祭	5月6日
上半期感謝祭(夏越大祓)	6月26日
境内清掃	5～8月に2、3回(うち1回懇親会)

教会日誌 令和4年1月1日から3月31日まで

1月1日 元日祭。

1月3日 池田町、M家、年頭感謝祭。

1月5日 薫別講社、年頭祭。

1月7日 士幌町、K家、年頭感謝祭。

1月7日 滝上礼拝所、年頭祭。

1月8日 帯広市、A家・K家合同感謝祭。

1月21日 札幌市、T家、株式会社I社、株式会社A社、株式会社B社、合同年頭感謝祭。

1月26日 名寄教会長葬儀式、教会長会葬参拝。

2月11日 釧路氏、A家五十日祭・合祀祭。

2月11日 帯広市、M家、式年祭。

2月15日 教会役員会。



写真 - 元日祭

十勝は穏やかな元日を迎えました。お屠蘇^{とそ}と御神水は今年もセルフサービスです。

2月26日 北海道教務センター主催「わがこころから神心へ協議会」リモート会議。十勝教会をリモート会場として提供。

2月27日 北海道教区輔教集会。十勝教会をリモート会場として提供。

3月21日 春季霊祭。

3月28日 芽室町、M家、葬儀式。29日まで。

写真(左) 滝上礼拝所年頭祭
教会から礼拝所へと形は変わりましたが、みなさん元気に活動しています。



写真 春の霊祭

今年の春も、コロナウイルス対策のため祭典後のお茶会は行いませんでした。
秋にはみんなで「おはぎ」をいただきたいですね。



写真 春の風景2

今年の春の選抜高校野球に「金光大阪高校」が出場！応援の幟を出しました。



写真 春の風景1

教会では毎年、桃の節句にはご神前に「おひな様」をお飾りします。

天地金乃神大祭次第

金光教十勝教会

- ・「神人の栄光」斉唱
- 一 祭員参向着席
- 一 拝 礼
- 一 神前拝詞奉唱
- 一 取次唱詞奉唱
- 一 祭主祭詞奏上
- 一 祭主玉串奉奠
- 一 天地書附奉体
- 一 参拝者代表玉串奉奠
- 一 神徳賛詞奉唱
- 一 拝 礼
- 一 祭員退下
- 御神伝奉読・講師紹介
- 教 話
 - 講師 金光教北見教会長
 - 矢代千春 先生
- 教会長挨拶

金光教宣言

大いなる天地に生かされる人間として
すべてのいのちを認め、尊び
神と人、人と人、人と万物が
あいよかけよで
共に生きる世界を実現する



KONKOKYO
金 光 教

神 人 の 栄 光

- 一、天地は神のふところ
人はみな神のいとし子
かぎりなき神徳のなかに
生かさるるわれ等うれしき
- 二、人の世にとわの光を
いとし子につきぬみかげを
誓わしし教祖の神に
救わるるわれ等うれしき

食 前 訓

食物はみな人の命のために
天地乃神のつくり
与え給うものぞ
何を食うにも飲むにも
ありがたく頂く心を忘れなよ

食 後 訓

体の丈夫を願え
体をつくれ
何事も体が元なり